

仙台高等専門学校				総合工学科Ⅰ類（留学生）								開講年度				令和05年度（2023年度）											
学科到達目標																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
一般	必修	日本語Ⅰ	0001	履修単位	2	4																			武田 拓 梅木 俊輔		
一般	必修	日本語Ⅱ	0002	履修単位	2			4																	武田 拓 梅木 俊輔		
一般	必修	技術者の日本語Ⅰ	0003	履修単位	2	4																			犬飼 亜 有美		
一般	必修	技術者の日本語Ⅱ	0004	履修単位	2			4																	犬飼 亜 有美		
一般	必修	日本の社会と文化Ⅰ	0005	履修単位	2	2	2																		朱 琳		
一般	必修	日本語Ⅲ	0006	履修単位	2				4																朱 琳		
一般	必修	技術者の日本語Ⅲ	0007	履修単位	2					2	2														犬飼 亜 有美		
一般	必修	日本の社会と文化Ⅱ	0008	履修単位	2					2	2														犬飼 亜 有美 梅木 俊輔		
一般	必修	日本語Ⅳ	0009	履修単位	2						4														犬飼 亜 有美		

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	日本語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科 I 類 (留学生)			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	「大学の日本語初級ともだち vol. 2」 (凡人社), 「留学生のための漢字の教科書 初級300 [改訂版]」 (国書刊行会), 「科学技術基礎日本語: 留学生・技術研修生のための使える日本語」 (凡人社)						
担当教員	武田 拓, 梅木 俊輔						
到達目標							
日本語初級後半レベルの学習者 (CEFR/日本語教育スタンダードA2.2相当, 日本語能力試験N4相当) が、日常生活面と学業面の両者において、日々繰り返されるパターン化された場面に加え、パターンから外れた予期していない場面で、文レベルのコミュニケーションが適切に行えるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
日本語で読む	身近な話題を中心とする単文を適切に読むことができる。		身近な話題を中心とする単文をある程度適切に読むことができる。		身近な話題を中心とする単文を適切に読むことができない。		
日本語で聞く	身近な話題を中心とする単文を適切に聞くことができる。		身近な話題を中心とする単文をある程度適切に聞くことができる。		身近な話題を中心とする単文を適切に聞くことができない。		
日本語で書く	身近な話題を中心とする単文を適切に書くことができる。		身近な話題を中心とする単文をある程度適切に書くことができる。		身近な話題を中心とする単文を適切に書くことができない。		
日本語で話す	身近な話題を中心に単文レベルのやりとりができる。		身近な話題を中心に単文レベルのやりとりがある程度できる。		身近な話題を中心に単文レベルのやりとりができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	寮生活や学校の授業等、身近な話題について、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする活動を中心に行う。						
授業の進め方・方法	基本的に教科書に沿って進める。また、教室内で学んだことをもとに、友達・先輩・後輩・教員・職員といった教室外の人々と上手に関わっていくための課題も行う。授業では課題を毎回指示するので、次回授業までに行ってくること。 「事前学習」: 次回の授業の内容、テキストの内容を確認しておくこと。 「事後学習」: 授業後の復習を毎回必ず行うこと。						
注意点	開講後、学習者の日本語力に応じ、授業計画・内容・使用教科書を変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	「大学の日本語初級ともだち vol. 2」 1 3 課 国の習慣 学習項目: 1. Vてもいいです, 2. {A-くては/A-では/Nでは} いけません, 3. {V/A-く/A-で/Nで} なければなりません, 4. {V/A-く/A-で/Nで} なくてもいいです, 5. NはVことです, 6. Vことは {A} です 「留学生のための漢字の教科書 初級300 [改訂版]」 1 課 (1-20) 1 4 課 私ができること 学習項目: 1. Nができます, NをVことができます, 2. NがV (Potential Form), 3. Vようになります, 4. (もし) {Vたら/A-かったら/A-だったら/Nだったら}, ~, (もし) {V/A-く/A-で/Nで} なかったら, ~, 5. V1たら, V2		1. 許可を求める/与える/断ることができる 2. 国の規則について簡単な日本語で聞き合うことができる 3. 趣味や将来の希望について聞き合うことができる 4. 日本の習慣についての説明文を読んで理解できる 5. 日本と自国の習慣を比較することができる 1. スポーツ、外国語、料理、車の運転ができるかどうか、聞き合うことができる 2. ある場所で何ができるか述べることができる 3. 「もし、Vたらどうしますか」を使って聞き合うことができる		
		3週	1 5 課 道を聞く 学習項目: 1. NをV/NがV, 2. NがVています, 3. Nが {見えます/聞こえます}, 4. {におい/味/音} がします, 5. [Place] をV (歩きます), 6. <Reason>。それで、<Result>, 7. {A-く/A-に/Nに} します, 8. {A-く/A-に} V 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 2 課 (21-40) 1 6 課 私の町 学習項目: 1. N1はN2が ~, 2. {V/A/A/N} (Plain Form) んです, 3. {Vた/Vない} ほうがいいです, 4. N1はN2より~, 5. N1とN2 (と) ではどちら (のほう) が~のほうが~/~どちらも~, 6. N1はN2ほど + Neg., 7. ~ではNがいちばん~		1. 自国の食べ物や料理の味について述べるができる 2. 道の行き方を聞き合うことができる 1. 友達を誘うことができる一理由を述べて断ることができる 2. 病気の症状を聞いてアドバイスすることができる 3. 二つを比較して、好きなのはどちらかを聞き合うことができる 4. 一番好きなもの/ことを聞き合うことができる 5. 東京と自分の町を比べることができる 6. 「私の町」を聞いて理解できる。「私の町」というテーマで作文を書き、発表できる		

		4週	17課 日本でびっくりしたこと 学習項目：1. {V/A-い/A-だ/Nだ}と、～、2. Vたことがあります、3. V1ながら、V2、4. N1と(いうの)は{N2の/V}ことです、5. {V/A}すきます、6. {V/A/N} (Plain Form) のはNです 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」3課 (41-60) 18課 将来の計画 学習項目：1. Vう／よう (Volitional Form) と思っています、2. {V/Vない} つもりです、3. {V/Nの} ためにV2、4. V1でV2/V1ないでV2、5. (たとえば) N1のようなN2、(たとえば) Nのように～、6. (まるで) Nのようです、(まるで) Nのように～/N1のようなN2	1. 道の行き方を聞き合うことができる 2. 日本文化に関する経験の有無を聞き合うことができる 3. 「日本でびっくりしたこと」について作文を書き、発表できる 1. 日本の食べ物や店について、知っているかどうか聞き、誘うことができる 2. 将来の計画を述べるができる 3. 日本で生活したり、漢字を覚えたりするために、どんなことをしているか聞き合うことができる 4. 将来、どんな人になりたいか、どんな町に住みたいかについて発表できる 5. 比喩表現を比較できる
		5週	19課 アドバイス 学習項目：1. {Vば/A-ければ/A-なら(ば)/Nなら(ば)}、～、2. {Vても/A-くても/A-でも/Nでも}、～、3. Vなら、～、4. {V/A-い/A/N} でしょう、{Vない/A-く/A-では/Nでは} ないでしょう、5. {V/A/N} (Plain Form) かもしれません、6. N1も{V/A/N} (Plain Form) し、N2も～ 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」4課 (61-80) 20課 うれしかったこと 学習項目：1. {Vて/ないで} おきます、2. NがVてあります、3. {V1/V1ない} ようにV2、4. [Person] 1は[Person] 2 {に/から} Nをいただきます、[Person] 1は私にNをくださいます、P1はP2 {に/を} Vてあげます/さしあげます、P1はP2にVてもらいます/いただきます、P1は私 {に/を} Vてくれます/くださいます	1. 生活上のアドバイスをし合うことができる 2. 天気予報を聞くことができる 3. ある人物について、どんな人か述べるができる 4. 食事に行く店はどこがいいか決めて、その理由を述べることができる 5. 国のおすすめの料理、おみやげ、泊まる場所などについて聞き合うことができる 1. 事前に準備しておくと言える 2. 「Vてあります」を使って、ペアで相手の状態を聞き合うことができる 3. 「Vてくれました/くださいました」を使って話すことができる 4. 友達や知り合いにお礼のメールを書くことができる
		6週	21課 国の料理 学習項目：1. {Vて/A-くて/A-で/Nで}、～、2. {A/V} そうです、3. {Vの/VN} に{V(使います)/A(必要です)}、4. Vてしまします、5. N1 {で/から} N2を作ります 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」5課 (81-100) 22課 ことばと文字 学習項目：1. [Person] 1は[Person] 2にV (Passive Form)、2. [Person] 1は[Person] 2に(Nを)V (Passive Form)、3. [Person] 1はN(かばん)をV (Passive Form)、4. 雨にふられました、5. [Thing] {は/が} V (Passive Form)	1. びっくりしたことや、うれしいと思うことについて述べるができる 2. 災害についての会話を聞いて、理解できる 3. 友達の表情や態度から、何があったか聞き合うことができる 4. 何かをするのに、どのぐらい/いくらぐらいかかるか聞き合うことができる 5. 自国の料理の作り方を書き、発表できる 1. 自分のいやな/困った経験について、受身形を使って述べるができる 2. 自国でどんな文字や言語が使われているか説明できる 3. 国で人気のある食べ物、飲み物、祭りなどについて聞き合うことができる
		7週	23課 友達から聞いたこと 学習項目：1. [Person] 1は[Person] 2をV (Causative Form)、2. [Person] 1は[Person] 2にNをV (Causative Form)、3. [Person] 1は[Person] 2をV(わらわせます)、4. N {によると/では}、{V/A/N} (Plain Form) そうです、5. {Nの/Vている} 間、～、{Nの/Vている} 間に、～[Time] までに～ 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」6課 (101-120) 24課 依頼 学習項目：1. Vてきました、Vていきます、2. {V/A/N} (Plain Form) ようです、3. {V/A/N} (Plain Form) のに、～、4. Vて {いただけませんか/くださいませんか}、5. V(さ) せて {ください/くださいませんか/いただけませんか}、6. 敬語表現 (=Honorific Expressions)	1. 親になったら、子どもに何を習わせたいか聞き合うことができる 2. なんかことをして親や先生を心配させたか述べるができる 3. 友達から聞いた話を他の人に伝えることができる 4. 日本の結婚式に着て行く服やあげるものについての会話が理解できる 5. 日本の人に日本のことについての情報が本当かどうか聞くことができる 6. 「～間」「～間に」を使って今後の予定などを言うことができる 1. グラフを見て、数の増減について述べるができる 2. 先生に敬語表現を使って、ていねいに依頼することができる 3. ていねいに許可を求めることができる 4. ていねいなメールを書くことができる 5. 謙譲語を使って自己紹介できる 6. 温泉旅館の説明を聞き、理解できる 7. 先生のお宅に電話がかけられる
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	「科学技術基礎日本語：留学生・技術研修生のための使える日本語」 第1課 数の読み方 学習項目：数字、桁の大きい数、少数、分数、倍数、べき数、累乗根 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」7課 (121-140) 第2課 式の読み方 学習項目：四則演算、和、差、積、商、余り、イコール、等しい、大なり、小なり、記号、かっこ、かっことじ	学習項目が運用できる：「端数の処理」、「数の種類」、「式の読み方」

		10週	第3課 割合を表す表現・あいまいな表現 学習項目：比例、反比例、割合を表す表現（比／比率、対、割、％、倍）、あいまいな表現（約、およそ、ほぼ、程度、前後、ほど） 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 8課（141-160） 第4課 図形（1）平面図形の名前 学習項目：点、線（直線、曲線、点線）、角度、直角、垂直、平行／水平、交点、頂点、辺、面、角、対角線、対頂角、接線、接点、中心、三角形、四角形、多角形、円	学習項目が運用できる：「数学記号」、「平面図形の記述」
		11週	第5課 図形（2）空間／立体図形の名前 学習項目：立方体、直方体、平行六面体、三角柱、四角柱、円柱、三角すい、四角すい、円すい、底面、球 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 9課（161-180） 第6課 図形に関する表現 学習項目：長さ、縦、横、高さ、底辺、円周、中心、半径、直径、奥行、幅、底面、厚さ	学習項目が運用できる：「立体図形の記述」
		12週	第7課 単位 学習項目：長さ、大きさ／広さ（面積）、大きさ（体積）、重さ（質量）、圧力、角度、温度、熱量、時間 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 10課（181-200） 第8課 位置を表す表現 学習項目：位置の表現（前、後ろ、右、左、横、隣、斜め、斜め前、斜め後ろ、まわり、上、下、真下、真横、手前、間）、面の名前（正面／前面、背面／後面、真正面、側面、上面、下面／底面、表面／表側、裏面／裏側）	学習項目が運用できる：「量／程度の記述」、「位置の記述」
		13週	第9課 手を動かす基本動作 学習項目：持つ、放す、握る、つかむ、つまむ、触れる／さわる、押さえる、もむ、こする、拭く、はらう、たたく、打つ、つつく 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 11課（201-220） 第10課 ものを動かす基本動作（1） 学習項目：上げる、下げる、上下させる、押す、引く、引っ張る、立てる、倒す、傾ける、落とす、つるす、回す、振る	学習項目が運用できる：「手に関する表現による記述」、「ものを動かす動作の記述（1）」
		14週	第11課 ものを動かす基本動作（2） 学習項目：載せる、下ろす／降ろす、積む、合わせる、ずらす、重ねる、挟む、近付ける、離す、覆う、かぶせる、ふたをする、栓をする 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 12課（221-240） 第12課 ものの形を変える基本動作（1） 学習項目：伸ばす、縮める、折る、たたむ、巻く、広げる、曲げる、折り曲げる、ねじる	学習項目が運用できる：「ものを動かす動作の記述（2）」、「ものの形を変える動作の記述（1）」
		15週	第13課 ものの形を変える基本動作（2） 学習項目：切る、切り取る、切り抜く、切断する、穴をあける、破る、裂く、ちぎる、削る、割る、砕く、折る、つぶす、すりつぶす 「留学生のための漢字の教科書 初級300[改訂版]」 12課（241-260） 第14課 道具や手を使う動作（1） 学習項目：書く、描く、線を引く、塗る、消す、はる、はがす、留める、とじる、束ねる、巻く、通す、結ぶ、ほどく	学習項目が運用できる：「ものの形を変える動作の記述（2）」、「道具や手を使う動作の記述（1）」、「文房具のいろいろ」
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	発表・技術文書の作成	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合	50	30	20	100	
基礎的能力	50	30	20	100	

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	日本語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科Ⅰ類（留学生）			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	「中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版」（スリーエーネットワーク）, 「日本語能力試験直前対策 N3 文字・語彙・文法」（国書刊行会）						
担当教員	武田 拓,梅木 俊輔						
到達目標							
日本語中級前半レベルの学習者（CEFR／日本語教育スタンダードB1.2相当, 日本語能力試験N3相当）が、日常生活と学業の両方面において、日々繰り返されるパターン化した場面を中心に、文レベルのコミュニケーションができるだけでなく、談話レベルでまとまりを持つ内容のコミュニケーションができるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本語で読む	パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を読むことができる			パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容をある程度読むことができる		パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を読むことができない	
日本語で聞く	パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を聞くことができる			パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容をある程度聞くことができる		パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を聞くことができない	
日本語で話す	パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を話すことができる			パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容をある程度話すことができる		パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を話すことができない	
日本語で書く	パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を書くことができる			パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容をある程度書くことができる		パターン化した場面を中心に談話レベルでまとまりを持つ内容を書くことができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	概要： パターン化した場面を中心に、談話レベルでまとまりを持つ内容のコミュニケーションに必要な日本語の4技能（読む・聞く・話す・書く）を総合的に高める。						
授業の進め方・方法	授業では、教科書に沿いながら、テーマに関連がある、新聞・インターネットの記事、ニュース・ドキュメンタリーのテレビ番組等からの実例を用い進める。また、教室内で学んだことをもとに、友達・先輩・後輩・教員・職員といった教室外の人々と上手に関わっていくための課題も行う。授業では課題を毎回指示するので、次回授業までに行ってくる。 「事前学習」： 次回の授業の内容、テキストの内容を確認しておくこと。 「事後学習」： 授業後の復習を毎回必ず行うこと。						
注意点	・ 授業では予習と授業前課題を毎回指示するので、授業前に行ってくること。 ・ 開講後、学習者の日本語力に応じ、授業計画・内容・使用教科書を変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 1課 音楽と音の効果（前半） 学習項目： 1. カタカナ語, 2. ～のだろうか, 3. ～わけがない / ～わけではない, 4. 名詞修飾節の「の」, 5. こそ, 6. より		学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・ 読む：「音楽と音の効果」 ・ 聞く：「聴解タスクシート」		
		2週	1課 音楽と音の効果（後半）		学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・ 話す：「音とリラックスについて話す」 ・ 書く：「私の好きな歌」		
		3週	2課 いい数字・悪い数字（前半） 学習項目： 1. ～というN, 2. ～ほど～はない, 3. ～からすると, 4. ～より, 5. 数字について読む・聞く		学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・ 読む：「いい数字・悪い数字」 ・ 聞く：「聴解タスクシート」		
		4週	2課 いい数字・悪い数字（後半）		学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・ 話す：「自国のいい数字・悪い数字について」 ・ 書く：「好きな数字・特別な数字」		
		5週	3課 「面白い」日本（前半） 学習項目： 1. 以来, 2. 何～も, 3. 文章と会話の中の「こ・そ・あ」, 4. ～ということだ, 5. までもない, 6. N1であろうと、N2であろうと, 7. （移動動詞）ている		学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・ 読む：「『面白い』日本」 ・ 聞く：「聴解タスクシート」		
		6週	3課 「面白い」日本（後半）		学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・ 話す：「電車の中の様子について」 ・ 書く：「日本に来て分かったこと」		

		7週	4課 くしゃみ（前半） 学習項目： 1. とたん, 2. 複合動詞（～だす・込む）, 3. とともに, 4. 助詞+「の」, 5. ～の途中, 6. 擬音語・擬態語, 7. ～ことに	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・読む：「くしゃみ」 ・聞く：「聴解タスクシート」
		8週	4課 くしゃみ（後半）	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・話す：「動物の鳴き声をどう表すか話す」 ・書く：「くしゃみ」
	4thQ	9週	5課 私の町（前半） 学習項目： 1. つつある, 2. を中心に, 3. 「ところに」・「ところで」, 4. 意志動詞・無意志動詞の整理, 5. らしい・そうだ・ようだ 6. げ	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・読む：「私の町」 ・聞く：「聴解タスクシート」
		10週	5課 私の町（後半）	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・話す：「好きな建物について話す」 ・書く：「メールの書き方：近況報告」
		11週	6課 この日に食べなきゃ、意味がない（前半） 学習項目： 1. 話し言葉, 2. にとって, 3. ずにはいられない, 4. ～としたら, 5. 「ことになる」・「ことにする」, 6. グラフの言葉	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・読む：「この日に食べなきゃ、意味がない」 ・聞く：「聴解タスクシート」
		12週	6課 この日に食べなきゃ、意味がない（後半）	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・話す：「自国の正月・特別な日に食べる料理」 ・書く：「正月料理・特別な料理」
		13週	7課 お相撲さんの世界（前半） 学習項目： 1. だらけ・まみれ, 2. ～ないと、～ないからだ, 3. ～のたびに, 4. に加えて, 5. （数字）は, 6. ないように, 7. 動詞くる, 8. 接続詞・副詞の整理	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・読む：「お相撲さんの世界」 ・聞く：「聴解タスクシート」
		14週	7課 お相撲さんの世界（後半）	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・話す：「どんな職業について関心があるか」 ・書く：「仕事のよい面・大変な面」
		15週	8課 第一印象（前半） 学習項目： 1. にすぎない, 2. Nさえ～ば／～なら, 3. さえ・しか・こそ, 4. というものではない, 5. かねない, 6. ものの	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・読む：「第一印象」 ・聞く：「聴解タスクシート」
		16週	8課 第一印象（後半） 期末試験	学習項目の用法を理解し、4技能において運用できる ・話す：「印象・自信があることの自己チェック」 ・書く：「人に会う時、気をつけていること」

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合		60	40	100	
基礎的能力		60	40	100	

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	技術者の日本語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	総合工学科 I 類 (留学生)		対象学年		1		
開設期	前期		週時間数		4		
教科書/教材	1年生留学生が対象となる科目 (日本語を除く) の使用教材						
担当教員	犬飼 亜有美						
到達目標							
教科学習に必要なとなる日本語運用に馴染み、周囲のサポートを全面的に受けつつ、教科学習が効果的に進められるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
授業内容の理解	各教科の授業内容を理解し、一部母語や英語を用いつつ、学習内容を日本語で説明することができる		各教科の学習内容を理解し、母語や英語を用いて学習内容を説明することができる		各教科の学習内容が理解できておらず、母語や英語を用いても学習内容を説明することができない		
日本語の読解・聴解	理工系科目で用いられる基本的な学習日本語が身についており、授業内の指示、試験問題の指示及び教科書・テキストの要点が理解できる。		理工系科目で用いられる基本的な学習日本語が身についており、授業内の指示及び試験問題の指示が理解できる。		理工系科目で用いられる基本的な学習日本語が身についておらず、授業内の指示及び試験問題の指示が理解できない。		
日本語の作文・発話	理工系科目の教科書・テキストで用いられる日本語の文章を自発的に算出することができる。		理工系科目で用いられる基本的な概念について、対応する日本語の語彙を発音・表記することができる。		理工系科目で用いられる基本的な概念について、対応する日本語の語彙を発音・表記することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本授業では、来日初期段階の留学生が主に理工系科目の基本的な用語・表現に慣れ、授業内容、授業内での指示及び試験での問を正確に理解するための基礎的能力を身につけることを目標とする。						
授業の進め方・方法	各教科の教科書及びテキストを用いて、漢字・専門用語の意味・教科書の言い回し等を学び、授業の予習・復習を行う。また、宿題・課題や、授業内で解決できなかった問題等についても、解決のための時間を取り、学生が自律的に教科学習を行うためのサポートをする。事前学習として、次回の授業の内容、テキストの内容を確認しておくこと。事後学習として、本授業及び各教科の授業で確認した用語・表現を復習すること。定期的に専門用語を振り返る小テストを行う。						
注意点	開講後、学習者の日本語力に応じ、授業計画・内容を変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業計画を理解し、前期の取り組みに自分なりの見通しが立てられるようになる。		
		2週	教科書・テキストの語彙・表現を理解する①		各教科の教科書・テキストを読み、キーワードの読み方・意味を理解できるようになる。		
		3週	教科書・テキストの語彙・表現を理解する②		各教科の教科書・テキストを読み、キーワードの読み方・意味を理解できるようになる。		
		4週	教科書・テキストの語彙・表現を理解する③		各教科の教科書・テキストを読み、キーワードの読み方・意味を理解できるようになる。		
		5週	教科書・テキストの語彙・表現を理解する④		各教科の教科書・テキストを読み、キーワードの読み方・意味を理解できるようになる。		
		6週	試験問題の指示を理解する①		前期中間試験の過去問を参考に、試験でよく用いられる表現を理解し、適切に問題を解くことができるようになる。		
		7週	試験問題の指示を理解する②		前期中間試験の過去問を参考に、試験でよく用いられる表現を理解し、適切に問題を解くことができるようになる。		
		8週	2Qの授業内容の予習		各科目の2Qの授業内容の予習を行い、問題点を解決する。		
	2ndQ	9週	前期中間試験の振り返り		前期中間試験の結果を客観的に分析し、期末試験に向けた改善策を考えることができる。		
		10週	教科書・テキストの内容を理解する①		各教科の教科書・テキストを読み、内容が理解できるようになる。		
		11週	教科書・テキストの内容を理解する②		各教科の教科書・テキストを読み、内容が理解できるようになる。		
		12週	教科書・テキストの内容を理解する③		各教科の教科書・テキストを読み、内容が理解できるようになる。		
		13週	文章問題演習		数学・物理の文章題で要求されていることを理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		
		14週	試験問題過去問演習①		問いを適切に理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		
		15週	試験問題過去問演習②		問いを適切に理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		

		16週	学習の振り返り・まとめ		前期の学習を振り返り、後期の学習方法に対して見通しを立てることができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	小テスト		振り返りシート		期末レポート	合計	
総合評価割合		20	40		40	100	
基礎的能力		20	40		40	100	

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	技術者の日本語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0004			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科Ⅰ類（留学生）			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	1年生留学生が対象となる科目（日本語を除く）の使用教材						
担当教員	犬飼 亜有美						
到達目標							
教科学習に必要なとなる日本語運用に馴染み、周囲のサポートをある程度受けつつ、教科学習が効果的に進められるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
授業内容の理解	各教科の学習内容を理解し、一部母語や英語を用いつつ、学習内容を日本語で説明することができる			各教科の学習内容を理解し、母語や英語を用いて学習内容を説明することができる		各教科の学習内容が理解できておらず、母語や英語を用いても学習内容を説明することができない	
日本語の読解・聴解	理工系科目で用いられる基本的な学習日本語が身についており、教科書・テキストの内容を理解及び授業内容の記述ができる			理工系科目で用いられる基本的な学習日本語が身についており、ある程度教科書・テキストの内容の理解及び授業内容の記述ができる		理工系科目で用いられる基本的な学習日本語が身についておらず、教科書・テキストの内容が理解できない	
日本語の作文・発話	理工系科目の教科書・テキストで用いられる日本語の文章を自発的に算出することができる。			理工系科目で用いられる基本的な概念について、対応する日本語の語彙を発音・表記することができる。		理工系科目で用いられる基本的な概念について、対応する日本語の語彙を発音・表記することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本授業では、来日1年未満の留学生が、理工系科目で用いられる語彙・表現を正確に理解し、学習内容を自らの言葉で説明できるようになることを目標とする。						
授業の進め方・方法	理工系科目の一週間の授業を振り返り、各教科の授業内容と新出語彙を振り返りシートに記入し、授業内で学習したことを口頭で説明する活動を行う。また、宿題・課題や、授業内で解決できなかった問題等についても、解決のための時間を取り、学生が自律的に教科学習を行うためのサポートをする。 事前学習として、次回の授業の内容、テキストの内容を確認しておくこと。 事後学習として、本授業及び各教科の授業で確認した用語・表現を復習すること。						
注意点	開講後、学習者の日本語力に応じ、授業計画・内容を変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	前期期末試験振り返り		前期期末試験の結果を客観的に分析し、後期中間試験に向けた改善策を考えることができる。		
		2週	授業内容を振り返り、要点をまとめる①		教科書・テキスト・ノート等をもとに授業内容を振り返り、理解したこと及びわからなかったことをまとめることができる		
		3週	授業内容を振り返り、要点をまとめる②		教科書・テキスト・ノート等をもとに授業内容を振り返り、理解したこと及びわからなかったことをまとめることができる		
		4週	授業内容を振り返り、要点をまとめる③		教科書・テキスト・ノート等をもとに授業内容を振り返り、理解したこと及びわからなかったことをまとめることができる		
		5週	授業内容を振り返り、要点をまとめる④		教科書・テキスト・ノート等をもとに授業内容を振り返り、理解したこと及びわからなかったことをまとめることができる		
		6週	後期中間試験対策①		問いを適切に理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		
		7週	後期中間試験対策②		問いを適切に理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		
		8週	高専の入試問題を解く		数学の基本的な用語を理解し、初見の問題を解くことができる。		
	4thQ	9週	後期中間試験振り返り		後期中間試験の結果を客観的に分析し、期末試験に向けた改善策を考えることができる。		
		10週	授業内容の要点を説明する①		学習内容や自分の理解状況について、工夫しながら相手に伝えることができるようになる。		
		11週	授業内容の要点を説明する②		学習内容や自分の理解状況について、工夫しながら相手に伝えることができるようになる。		
		12週	授業内容の要点を説明する③		学習内容や自分の理解状況について、工夫しながら相手に伝えることができるようになる。		
		13週	授業内容の要点を説明する④		学習内容や自分の理解状況について、工夫しながら相手に伝えることができるようになる。		
		14週	後期期末試験対策①		問いを適切に理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		
		15週	後期期末試験対策②		問いを適切に理解し、正確に問題を解くことができるようになる。		

		16週	学習の振り返り・まとめ		1年間の学習を振り返り、2年生の学習に対して見通しを立てることができるようになる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
		振り返りシート		期末レポート		合計	
総合評価割合		50		50		100	
基礎的能力		50		50		100	

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	日本の社会と文化 I	
科目基礎情報							
科目番号	0005			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科 I 類 (留学生)			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	初級からの日本語スピーチ (国際交流基金関西国際センター、2018)、自作資料。						
担当教員	朱 琳						
到達目標							
1 講義を通して、日本の文化、生活様式、社会の構造や性質、日本人の物の考え方について大まかな理解ができるようになる。 2 特定の話題についてまとめた発表ができるようになり、日本語で母国の文化・社会に関する内容を紹介できる。 3 特定の話題に関するスピーチを準備するプロセスにおいて、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」4技能を磨き、日本語を応用する能力を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本文化に関する基礎知識		日本の文化と社会に関する基本的な事柄がよく理解できる。		日本の文化と社会に関する基本的な事柄がある程度理解できる。		日本の文化と社会に関する基本的な事柄がまったく理解していない。	
日本語応用能力		自然な日本語で母国の文化を紹介することができる。ジェスチャーなどを活用しながら、流暢にスピーチすることができる。		日本語で母国の文化を紹介することができる。まとまりのあるスピーチをすることができる。		日本語で母国の文化を紹介することができない。	
異文化理解		日本文化と自文化を比較・分析し、グローバルな視点で、物事を考えることができる。		日本文化と自文化の違いを理解しようとし、グローバルな視点で物事を考えようとする姿勢がみられる。		日本文化と自文化を比較・分析し、グローバルな視点で、物事を考えることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本の社会と文化 Iは、初級段階の留学生を対象とし、できるだけ早く日本文化に順応することを目標とする。特に、日本語の応用力と日本文化に対する理解とのバランスを考えつつ、国際的な視野の涵養を重要視する。授業はおおむね二つのパーツが含まれ、一つは、日本語の応用力を伸びるためのスピーチ訓練、もう一つは、日本の文化、生活様式、社会の構造や性質、日本人の物の考え方を学ぶための講義である。受講者はこの授業を通して、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」4技能を身につけ、国際的な視点から自国文化と日本文化を深く理解する。					
授業の進め方・方法		・授業の進め方：基本的には、「語彙・表現の学び→発表→発表のフィードバック→講義」という流れで授業を進めていくが、自作資料・新聞記事・ビデオ等の副教材を活用すると共に、文化理解をテーマとしたインタビュー・発表などのプロジェクトをふんだんに取り入れる。受講者は、語学力を上達すると同時に、生の日本文化に触れつつ、自文化を振り返る。 ・授業内容：前期の授業では、まず「年中行事」、「国の概況」、「観光」、「歴史」、「経済産業」などの話題を取り上げ、基本なスピーチを自力で構成できるように練習を繰り返す。後期の授業では、より複雑なスピーチを構成できるよう、「習慣」、「人間関係」、「社会問題」などの話題を通して、「対比」、「因果関係」、「分析」などの表現法を身につける。 ・事前学習：語彙・表現の予習、スピーチ原稿の作成 ・事後学習：語彙・表現の復習、スピーチ原稿の修正 ・小テスト・期末試験あり。					
注意点		ほかの参考資料、自作資料などを随時に配布する。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の内容、進め方、授業評価などを知る。		
		2週	日本語で仙台高専を紹介する		日本語で簡単な発想をできる。		
		3週	高専での日本語		高専での学校生活に使う日本語を学ぶ。		
		4週	まつり		まつりと年中行事に関する表現を学ぶ。		
		5週	まつり		自国のまつりについて調べて、発表する。		
		6週	まつり		日本のまつりについて学ぶ。		
		7週	地理、民族、宗教		地理、民族、宗教に関する表現を学ぶ。		
		8週	地理、民族、宗教		自国の地理、民族、宗教について調べて、発表する。		
	2ndQ	9週	地理、民族、宗教		日本の地理、民族、宗教について学ぶ。		
		10週	復習、小テスト				
		11週	観光		旅行用語、観光に関する表現を学ぶ。		
		12週	観光		自国の観光資源を調べて、紹介する。		
		13週	観光		日本の観光地や交通機関の利用法について学ぶ。		
		14週	復習とまとめ		以上の内容を振り返る。		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却		試験の振り返り		
後期	3rdQ	1週	お弁当の話		日本のお弁当の歴史を学ぶ。		
		2週	お弁当の話		日本のさまざまなお弁当を調べて、好きな弁当について発表する。		
		3週	歴史		歴史に関する表現を学ぶ。		

		4週	歴史	自国の歴史について調べて、紹介する。
		5週	歴史	日本の歴史と文化との関係を学ぶ。
		6週	日本の歴史と文化について動画鑑賞	動画を通して、日本の歴史と文化を理解し、議論する。
		7週	産業と貿易	産業、貿易についての表現を学ぶ。
		8週	産業と貿易	自国の産業、貿易について調べて、紹介する。
	4thQ	9週	産業と貿易	日本の産業と貿易について学ぶ。
		10週	習慣の違い	さまざまな習慣についての表現を学ぶ。 日本人学生にインタビューする。
		11週	習慣の違い	インタビューの結果に基づき、発表する。
		12週	出来事を語る	過去の出来事を話す時の表現を学ぶ。
		13週	出来事を語る	日本に来てからの生活を振り返り、自分の体験を紹介する。
		14週	復習とまとめ	以上の内容を振り返る。
		15週	期末評価	期末試験
		16週	試験返却	試験の振り返り

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	ポートフォリオ（作文）	合計
総合評価割合	40	30	30	100
基礎的能力	20	20	20	60
専門的能力	20	10	10	40